

狛江市長
高橋都彦様

狛江市市民参加と市民協働に関する審議会答申
(市民協働事業提案制度・平成 28 年度提案事業)

平成 28 年 4 月 25 日付け狛企政発第 000068 号にて狛江市長より諮問のあった「市民参加の手続きの方法及び市民協働事業の提案に関する事項」について、当審議会において検討を重ねた結果、別紙のとおり答申としてまとめましたので、報告いたします。

平成 28 年 8 月 31 日

狛江市市民参加と市民協働に関する審議会委員

会 長	奥村 隆一
副会長	内海 貴美
委 員	大塚 隆人
委 員	藤川 隆司
委 員	関 幸一
委 員	島本 和彦
委 員	松崎 学
委 員	小川 憲一郎
委 員	松本 和美
委 員	平 美和
委 員	愛甲 悦子
委 員	宍戸 泉
委 員	長谷川 好道
委 員	西家 将善
委 員	石田 琢智

市民協働事業提案制度（平成 28 年度提案事業）について

1. 平成 28 年度提案事業

■行政提案型市民協働事業・・・2件

事業名	応募団体名	担当部署名
東京オリンピック・パラリンピックを活用した取組みについて	狛江市平和祈念事業実行委員会	政策室
子どもとその保護者及び高齢者における交通事故ゼロを目指すため、交通事故事例集などの小冊子作成	調布交通安全協会狛江連合支部	道路交通課

■市民提案型市民協働事業・・・1件

事業名	応募団体名	担当部署名
川の家プロジェクト	comaecolor	地域活性課 環境政策課

2. 公開プレゼンテーション及び審査会

■実施状況

日時：平成 28 年 7 月 23 日（土） 12 時 30 分～

会場：防災センター 4 階会議室

担当：狛江市市民参加と市民協働に関する審議会委員（4 名）

3. 審査結果

■別紙・審査表のとおり

4. その他

市民協働事業提案制度は、従前の「市民提案型市民協働事業」に加え、平成 26 年度から新たに「行政提案型市民協働事業」を開始し、平成 24、25 年度と 2 年間 0 件であったのが、平成 26 年度には 4 件、平成 27 年度には 2 件の提案を受け、事業実施に至っている。

今後も制度自体の不断の見直し等を行い、同制度の活用も含めて狛江市の市民参加と市民協働の一層の推進に取り組むことを期待する。

市民協働提案事業 審査表

提案団体名	狛江市平和祈念事業実行委員会
提案事業名	東京オリンピック・パラリンピックを活用した取組みについて

①公益性：提案事業は、地域社会の発展又は地域課題の解決に寄与するものであるか。

1. 大変寄与する (4点)	2. 寄与する (3点)	3. どちらともいえない (2点)	4. あまり寄与しない (1点)	5. 全く寄与しない (0点)	A	B	C	D
<特記事項> ■世界の中の一員という意識を持つために必要と考える。 ■外国人と積極的に触れ合うことができるような意識や機運を醸成することがカギになる。					《点数》			
					4	3	3	3

②協働性：団体・市とともに協働事業に前向きであり、協働による効果が期待できるか。

1. 大変期待できる (4点)	2. 期待できる (3点)	3. どちらともいえない (2点)	4. あまり期待できない (1点)	5. 全く期待できない (0点)	A	B	C	D
<特記事項> ■団体がリーダーするのはよいと思うが、一般からも知恵を募集する必要もあるだろう。 ■イベントを企画し実現に向けては、団体と行政がタッグを組むことで成功へとつながる。					《点数》			
					4	2	4	3

③具体性：事業内容や実施方法に具体性があり、市と団体の役割分担が適正か。

1. 大変適正である (4点)	2. 適正である (3点)	3. どちらともいえない (2点)	4. あまり適正でない (1点)	5. 全く適正でない (0点)	A	B	C	D
<特記事項> ■具体的なイベント等をどんな企画していただきたい。 ■あまり幅を上げずることから。 ■内容に具体性があまり見られないが、多くの項目が市政に関連しているので、市との協働が必要。					《点数》			
					3	2	2	3

④実現性：事業計画と収支予算は整合しており、事業に実現性があるか。

1. 大変実現性がある (4点)	2. 実現性がある (3点)	3. どちらともいえない (2点)	4. あまり実現性がない (1点)	5. 全く実現性がない (0点)	A	B	C	D
<特記事項> ■実際に実行する場合は予算組みが妥当か不明。 ■多くの可能性を秘めた提案であるので、市との協働の仕方によっては大きな実現性を有すると考える。					《点数》			
					3	2	3	3

⑤実施能力：提案団体は、提案事業を実施する能力を持つか。

1. 太い (4点)	2. 持つ (3点)	3. どちらともいえない (2点)	4. あまり持たない (1点)	5. 全く持たない (0点)	A	B	C	D
<特記事項> ■市内の他の団体と協力するとよいと思う。 ■過去において実績があると思われるので、問題無しと考える。					《点数》			
					3	3	4	3

評価点計 (20点満点/個人)

17点	12点	16点	15点
-----	-----	-----	-----

【審査結果】

本事業については、その趣旨・目的に鑑み実施することが望ましい。
 なお、事業実施にあたっては、団体と市で十分に連携し実施されたい。

評価点合計 (80点満点/全体)

60点

市民協働提案事業 審査表

提案団体名	調布交通安全協会泊江連合支部
提案事業名	子どもとその保護者及び高齢者における交通事故ゼロを目指すため、交通事故事例集などの小冊子作成

①**公益性**：提案事業は、地域社会の発展又は地域課題の解決に寄与するものであるか。

1. 大変寄与する (4点) 2. 寄与する (3点) 3. どちらともいえない (2点) 4. あまり寄与しない (1点) 5. 全く寄与しない (0点)	A	B	C	D
<特記事項> ■柏江市内の危険箇所を周知し被害者にも加害者にもならないより安全なまちを目指す。 ■交通安全自体が重要な課題であるので、公益性大。	4	4	4	3
<点数>				

②**協働性**：団体・市とともに協働事業に前向きであり、協働による効果が期待できるか。

1. 大変期待できる (4点) 2. 期待できる (3点) 3. どちらともいえない (2点) 4. あまり期待できない (1点) 5. 全く期待できない (0点)	A	B	C	D
<特記事項> ■行政と団体の協力体制が大きな役割をはたす。 ■教育、マナー、駐輪、飲酒など市との協働が必要な課題が含まれている。	4	3	4	4
<点数>				

③**具体性**：事業内容や実施方法に具体性があり、市と団体の役割分担が適正か。

1. 大変適正である (4点) 2. 適正である (3点) 3. どちらともいえない (2点) 4. あまり適正でない (1点) 5. 全く適正でない (0点)	A	B	C	D
<特記事項> ■地図に危険箇所を写真で示し、わかりやすくすぐすぐなど工夫があるとよい。 ■冊子がメインであるが、冊子の構想が完全とは言えない。	4	3	4	3
<点数>				

④**実現性**：事業計画と収支予算は整合しており、事業に実現性があるか。

1. 大変実現性がある (4点) 2. 実現性がある (3点) 3. どちらともいえない (2点) 4. あまり実現性がない (1点) 5. 全く実現性がない (0点)	A	B	C	D
<特記事項> ■長年見てきた実績を大いに発揮してよりよい冊子づくりになると思う。 ■冊子の作成だけで安全が確保できるか、一考が必要。	4	3	4	3
<点数>				

⑤**実施能力**：提案団体は、提案事業を実施する能力を持つか。

1. 大いに持つ (4点) 2. 持つ (3点) 3. どちらともいえない (2点) 4. あまり持たない (1点) 5. 全く持たない (0点)	A	B	C	D
<特記事項> ■事例を特集することなど考えており、無理なくわかりやすい冊子ができそう。 ■専門家の協力を得ることもあり、提案団体の熱意が感じられた。	4	3	4	4
<点数>				

評価点計 (20点満点/個人) **20点 16点 20点 17点**

【審査結果】
 本事業については、その趣旨・目的に鑑み実施することが望ましい。
 なお、事業実施にあたっては、団体と市で十分に連携し実施されたい。

評価点合計 (80点満点/全体)

73点

市民協働提案事業 審査表

提案団体名	comaeocolor
提案事業名	川の家プロジェクト

①**公益性**：提案事業は、地域社会の発展又は地域課題の解決に寄与するものであるか。

1. 大変寄与する (4点)	2. 寄与する (3点)	3. どちらともいえない (2点)	4. あまり寄与しない (1点)	5. 全く寄与しない (0点)	A	B	C	D
<特記事項> ■必ずしも地域課題の解決とはならないが、話題性はある。単なるお祭りイベントにならないようにする必要がある。 ■地域振興につながる要素が薄いように思えるので、狛江市の活性化につながる点、内輪や地域に偏らないことが重要。					《点数》			
					3	3	3	4

②**協働性**：団体・市・市ともに協働事業に前向きであり、協働による効果が期待できるか。

1. 大変期待できる (4点)	2. 期待できる (3点)	3. どちらともいえない (2点)	4. あまり期待できない (1点)	5. 全く期待できない (0点)	A	B	C	D
<特記事項> ■協働の部分で相互の交わりが薄いように思える。 ■公的許認可が必要なものも多く、市全体に関わるテーマである。					《点数》			
					3	2	2	3

③**具体性**：事業内容や実施方法に具体性があり、市と団体の役割分担が適正か。

1. 大変適正である (4点)	2. 適正である (3点)	3. どちらともいえない (2点)	4. あまり適正でない (1点)	5. 全く適正でない (0点)	A	B	C	D
<特記事項> ■地域振興や駅前賑わいを考えるのであれば、もう少し市内の商店との関わり部分を知りたい。 ■未知数も多いが、狛江市のイメージアップには有効と考える。					《点数》			
					2	3	2	3

④**実現性**：事業計画と収支予算は整合しており、事業に実現性があるか。

1. 大変実現性がある (4点)	2. 実現性がある (3点)	3. どちらともいえない (2点)	4. あまり実現性がない (1点)	5. 全く実現性がない (0点)	A	B	C	D
<特記事項> ■インフラ整備以外は、若いパワーと着眼で実現性は大きい。 ■方向性は妥当だが、イベントを強調すると近隣住民への配慮等に問題が生じてくる。					《点数》			
					2	4	1	1

⑤**実施能力**：提案団体は、提案事業を実施する能力を持つか。

1. 大いに持つ (4点)	2. 持つ (3点)	3. どちらともいえない (2点)	4. あまり持たない (1点)	5. 全く持たない (0点)	A	B	C	D
<特記事項> ■ソフト面は固まっているので今年のプレオープンが可能であると思う。次年度以降は協働性をクリアする必要がある。 ■志はよいが、社会経験が不足しているように感じた。今後の発展に強く期待したい。					《点数》			
					4	3	3	2

評面点計 (20点満点/個人) 14点 15点 11点 13点

【審査結果】

本事業については、提案の趣旨には賛同するが、市との協働性や地域振興への寄与等において、市民協働提案事業として多くの解消すべき課題がある。
事業実施にあたっては市と十分協議のうえ、検討していただきたい。

評面点合計 (80点満点/全体)

53点

市民協働提案事業 審査表

★特記事項

【東京オリパラ】

■狛江において、東京オリパラやラグビーW杯で外国人を「もてなす」には、外国人に対する緊張や抵抗感を取り除く方策が必要である。そのために、外国人と触れ合う機会、交流する機会を作ることが必要である。

■子どもを巻き込んだ交流もよい。小さいころから外国人に対する抵抗感を持たせないこともレガシーにつながるのではないか。

■市内の他団体と協力して事業を進めていくとよい。

【交通安全】

■被害者だけでなく、加害者にならないような啓発にもつながる冊子となるとよい。

■リアルに伝えることが重要なので、危険箇所、実際の事故発生箇所を記載する。

■自転車に対する通行マップを作成することも有効。（安全な道、危険な道、実際の事故現場等）

【川の家】

■市の魅力発信としてコンセプトはよい。

■仲間内だけでなく、賛同、協力する団体や店舗を募りながら、広く巻き込んでの実施をしてもらいたい。

■支出に草取りが含まれているが、市民ボランティアに手伝ってもらおう等、市民を巻き込んで実施できる部分がある。

■安全面に十分配慮すること。

★指摘すること・注意点・課題等

【東京オリパラ】

■具体性に乏しいので、今後協働する中で具体化していく必要がある。

【交通安全】

■配布するだけでなく、説明しながら配ったり、講習イベントを開催する等の工夫も必要。

■市民が活動するエリアを考えると、市内だけでなく近隣エリアも含まれてくる。

【川の家】

■毎週イベントを行うことについて、近隣住民の理解を得るのは難しい。

■市との協働部分が周知広報、ハード面整備、近隣住民との調整などのみとなっており、市民協働事業制度本来の趣旨と変わってきてしまう。

■イベントだけに終わらない取組みが必要。